

乳幼児揺さぶられ症候群 (SBS)

乳幼児揺さぶられ症候群とは

赤ちゃんは激しく揺さぶられると、首の筋肉が未発達なために脳が衝撃を受けやすく、脳の損傷による重大な障害を負うことや、場合によっては命を落とすことがあります。赤ちゃんが泣き止まない時にイライラして強く揺さぶってしまった時や、遊びのつもりで激しく揺らした時等に起きやすいです。また、サイズが合わないチャイルドシートに乗せ、長時間移動した場合でも起きることがあります。



乳幼児揺さぶられ症候群の症状

- ・元気がなくなる
- ・機嫌が悪くなる
- ・嘔吐
- ・けいれん
- ・意識障害（呼んでも応えない）
- ・昏睡（強く刺激しても目を覚まさない状態）



予防のポイント

赤ちゃんをあやす時は頭が前後に揺さぶられないように頭と腰をしっかり支えてあげましょう。赤ちゃんが泣き止まない時は、おむつを替える、抱っこやおんぶをしてゆっくりと赤ちゃんを揺らす、お気に入りの物を見せる、一緒に遊ぶ等を試してみましよう。それでも泣き止まない時は、一度安全な場所に寝かせて様子を見たり、周囲の人に相談してみましよう。乗り物で移動するときは長時間になるのはできるだけ避け、こまめに休憩をとるようにしましよう。また、チャイルドシートは赤ちゃんのサイズにあった物を正しく着用してください。

